



Fiery Verify

© 2025 Fiery, LLC. 本書に記載されている情報は、本製品の『法律上の注意』の対象となります。

2025年3月19日

# 目次

Fiery Verify 2.20 .....	5
Fiery Verify でサポートされている測定器 .....	5
サンプルをカラーリファレンスと比較する .....	6
Fiery Verify で許容値設定を作成/編集する .....	7
サンプル測定値を保存する .....	7
参照用としてサンプルを保存する .....	8
リファレンスをロード .....	8
サンプルをロードする .....	8
パッチ測定 .....	8
リファレンスとして使用するパッチページを測定する .....	9
サンプルファイルを測定する .....	9
レポートを保存する .....	10
検証ラベルを作成する .....	10



# Fiery Verify 2.20

Fiery Verify は、カラーリファレンスと比較したカラー測定値の検証結果を表示します。

結果は、カラーリファレンス、サンプル測定値、および許容値設定から計算されます。

Fiery Verify では、比較するために許容値設定を編集できます。

## Fiery Verify でサポートされている測定器

Fiery Verify では、印刷された出力の測定が必要な機能のための計測器が必要です。Fiery Verify がサポートしている測定器は以下の通りです。

### サポートされている計測器

- 次の測定器では、測定リファレンスワークフローおよび測定サンプルワークフローがサポートされています。
  - EFI ES-6000
  - EFI ES-3000
  - EFI ES-2000
  - Barbieri Spectropad (USB 接続のみ)
  - Barbieri Spectro LFP
  - Barbieri Spectro LFP qb
  - Barbieri Spectro Swing
  - Canon iPRC10000VP シリーズオンライン
  - Konica Minolta FD-9
  - Konica Minolta FD-5BT
  - Konica Minolta IQ-501
  - X-Rite i1iSis 2 XL
  - X-Rite i1iSis 2
  - X-Rite i1iSis XL
  - X-Rite i1 iSis
  - X-Rite i1iO 3
  - X-Rite i1iO 2
  - X-Rite i1iO

- X-Rite i1Pro 3
- X-Rite i1Pro 2
- X-Rite i1Pro
- X-Rite i1Pro 3+
- Xerox iGen インライン分光測色計
- Xerox Full Width Array
- 次の測定器では、パッチ測定ワークフローがサポートされています。
  - EFI ES-3000
  - EFI ES-2000
  - X-Rite i1Pro 3
  - X-Rite i1Pro 2
  - X-Rite i1Pro
  - X-Rite i1Pro 3+
  - Konica Minolta FD-5BT
  - Konica Minolta Myiro

詳細については、[リファレンスとして使用するパッチページを測定する](#) (9 ページ)、[サンプルファイルを測定する](#) (9 ページ)、[パッチ測定](#) (8 ページ) を参照してください。

## サンプルをカラーリファレンスと比較する

サンプルとリファレンスファイルをロードし、許容値設定を使って比較します。

**メモ：**Fiery Verify では、.icc、.txt および.it8 ファイル拡張子がサポートされています。

**メモ：**サンプルとリファレンスファイルには、有効な CGATS データが含まれている必要があります。

**1** オプション: ファイル **新しい比較** をクリックして、新しい比較を開始します。

**2** 比較 リファレンスをロード>をクリックします。

**メモ：**G7 グレースケール許容値セットには、カラーリファレンスファイルは必要ありません。

**3** ファイルを選択し、開くをクリックします。

**4** 比較 サンプルをロード>をクリックします。

**5** ファイルを選択して、開くをクリックします。

**6** カラーワークフローに適した**許容値設定**を選択します。

**7** オプション: レポートをクリックして、PDF 形式で詳細なレポートを保存します。

**メモ：**G7 グレースケール許容値セットまたは G7 対象許容値セットが選択されている場合、ΔE 列は表示されません。

## Fiery Verify で許容値設定を作成/編集する

許容値設定を作成または編集して、Fiery Verify で比較するために使う基準を指定します。

以下を含むカラーワークフローの許容バリエーション限度を把握します。

- $\Delta E$  式
- 通常の  $\Delta E$  限度
- 原色の  $\Delta E$  限度
- 色相差異の  $\Delta H$  限度
- トーン値の許容限度
- 彩度差異の  $\Delta Ch$  限度
- NPDC の  $\Delta L$  限度
- スポットカラー  $\Delta E$  限度

**メモ：**限度は、条件ごとに計算される許容値範囲を定義します

- 1 **編集 > 許容値セットエディター** をクリックします。
- 2  をクリックします。
- 3  $\Delta E$  式を選択します。
- 4 必要な**許容値基準**のチェックボックスを選択します。
- 5 選択されている各基準の**限度**を入力します。
- 6 **警告**または**失敗**を選択して、測定値が指定限度を超えたときに、各基準が示される方法を選択します。
  - **警告**は通知のみのため、比較を行えます。
  - **失敗**は、すべての比較が失敗する原因となります。
- 7 **保存**をクリックします。

## サンプル測定値を保存する

検証処理の一部として行われた測定サンプルを.it8 ファイルとして保存します。

測定サンプルは.it8 ファイルとして保存されます。

リファレンスとして使用するため、または比較のために、測定サンプルを保存します。

- 1 Fiery Verify で、**比較 > サンプルを保存**をクリックします。
- 2 レポートを保存する場所に移動します。
- 3 ファイル名を入力し、**保存**をクリックします。

## 参照用としてサンプルを保存する

検証プリセットエディターでカラーリファレンスとして使用するために、測定サンプルを保存します。

- 1 Fiery Verify で、**比較 > 参照用としてサンプルを保存する**をクリックします。
- 2 ファイル名を入力し、**保存**をクリックします。

## リファレンスをロード

リファレンスファイルを Fiery Verify にロードし、測定サンプルと比較します。

**メモ：**Fiery Verify では、.icc、.txt および.it8 ファイル拡張子がサポートされています。

**メモ：**リファレンスファイルには、有効な CGATS データが含まれている必要があります。

- 1 Fiery Verify で、**比較 > リファレンスをロード**をクリックします。
- 2 ファイルを選択し、**開く**をクリックします。

## サンプルをロードする

サンプルファイルを Fiery Verify にロードし、リファレンスと比較します。

**メモ：**Fiery Verify では、.icc、.txt および.it8 ファイル拡張子がサポートされています。

**メモ：**サンプルファイルには、有効な CGATS データが含まれている必要があります。

- 1 Fiery Verify で、**比較 > サンプルをロード**をクリックします。
- 2 ファイルを選択し、**開く**をクリックします。

## パッチ測定

新しく測定したカラーパッチと印刷したカラーパッチを比較できます。

サポートされている携帯型測定器がコンピューターに接続されていることを確認します。

- 1 印刷したカラーパッチを比較するには、次のいずれかの手順を実行します。
  - **ファイル > 新しい比較**をクリックします。
  - カラーリファレンスファイルまたはサンプルファイルから測定値をロードします。
- 2 **比較 > パッチ測定を開始**をクリックします。
- 3 画面のキャリブレーション手順に従って、測定器をキャリブレーションします。
- 4 **測定モード**をクリックし、任意の測定モードを選択します。

- 5 キャリブレートをクリックします。
  - 6 リファレンスまたはサンプルの行をクリックして、カラー測定値を設定します。
  - 7 測定するカラーパッチの上に測定器を配置します。
  - 8 測定器を使用してカラーパッチをスキャンします。
- Fiery Verify は、測定したパッチ値をリファレンス列またはサンプル列にリストされている値と自動的に比較し、結果を表示します。
- 9 パッチがすべて測定されたら、**測定を停止**をクリックします。

## リファレンスとして使用するパッチページを測定する

Fiery Verify でカラー参照として使用するパッチページを測定できます。

印刷済みのパッチページが必要です。

**メモ**：Fiery Verify により測定値が.it8 ファイルとして保存されます。

- 1 Fiery Verify で、**比較 > リファレンスを測定**をクリックします。  
Fiery Verify では、FieryMeasure を使用してサンプルカラーパッチを測定します。
- 2 **計器**リストから測定器を選択します。  
オプションで、**設定**をクリックして測定器のオプションを設定することもできます。
- 3 測定の種類を選択します。または、ファイルからパッチレイアウトをインポートする場合は、**インポート**を選択してファイルを選択します。
- 4 測定器に適したページレイアウトを選択します。
- 5 **チャートサイズ**リストから、ワークフローに適しており、プリンターにロードされている用紙に対応するチャートサイズを選択します。
- 6 **測定**をクリックします。
- 7 画面の手順に従って、測定器のキャリブレーションを行います。
- 8 画面の指示に従って、パッチレイアウトページを測定します。

## サンプルファイルを測定する

Fiery Verify のサンプルファイルとして使用するパッチページを測定できます。

印刷済みのパッチページが必要です。

**メモ**：Fiery Verify により測定値が.it8 ファイルとして保存されます。

- 1 Fiery Verify で、**比較 > サンプルを測定**をクリックします。  
Fiery Verify は FieryMeasure を使用してサンプルカラーパッチを測定します。

**2 計器**リストから測定器を選択します。

オプションで、**設定**をクリックして測定器のオプションを設定することもできます。

**3** 測定の種類を選択します。または、ファイルからパッチレイアウトをインポートする場合は、**インポート**を選択してファイルを選択します。**4** 測定器に適したページレイアウトを選択します。**5** **チャートサイズ**リストから、ワークフローに適しており、プリンターにロードされている用紙に対応するチャートサイズを選択します。**6** **測定**をクリックします。**7** 画面の手順に従って、測定器のキャリブレーションを行います。**8** 画面の指示に従って、パッチレイアウトページを測定します。

## レポートを保存する

検証比較の詳細を PDF ファイルとして保存します。

**1** Fiery Verify で、以下のいずれかを行います。

- ファイル **PDF にエクスポート > レポート >**をクリック
-  をクリック

**2** レポートを保存する場所に移動します。**3** **保存**をクリックします。

**メモ**：G7 グレースケール許容値セットまたは G7 グレースケール対象許容値セットが選択されている場合、 $\Delta E$  列は表示されません。

## 検証ラベルを作成する

検証比較の詳細をラベルとして PDF ファイルに保存できます。

**1** Fiery Verify で検証が完了したら、**ラベル**アイコン  をクリックします。

ラベルが PDF ファイルとして作成され、デフォルトの PDF ビューアで開かれます。

**2** PDF ファイルを印刷または保存します。

**メモ**：G7 グレースケール許容値セットには、カラーリファレンスファイルは必要ありません。